

生産現場の安全・安心・ウェルビーイング*を実現！ スマートRFIDリーダ「KW2D形」など IDEC 製品を活用した 非接触の自動検温システムを導入

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、社員証などのICカードを読み取ることで履歴管理を実現できるスマートRFIDリーダ「KW2D形」と、MQTTプロトコルに対応したプログラマブルコントローラ「FC6A形Plus」、プログラマブル表示器「HG1G形」などのIDEC製品を、市販のサーモカメラと組み合わせた非接触の自動検温システムを構築し、新型コロナウイルス対策として国内にある全ての生産・物流拠点に導入いたしました。

スマートRFIDリーダ「KW2D形」で社員証を読み取り、プログラマブル表示器で登録作業を行うことで個人を認証し、サーモカメラでマスクの有無や体温を計測します。検温の結果、37.5度以上体温がある場合は、赤色のアラートが表示されます。その情報を、MQTTプロトコル対応により、直接データ収集用のクラウドサーバーと通信することが可能となった、プログラマブルコントローラ「FC6A形Plus」でクラウドサーバーに送ることで、出社した社員一人ひとりの検温情報を、遠隔で確認・管理することが可能となりました。

IDECでは創業以来「人間性尊重経営」を掲げており、誰もが健康で、幸せに、活き活きと暮らすことができる社会を実現するため、「安全・安心・ウェルビーイング」向上のための製品開発や、各種取り組みを推進しております。今回の取り組みはその一環として、在宅勤務などが難しい生産・物流現場で働く社員の感染予防対策のために導入いたしました。今後も、社内外全ての人の安全・安心・ウェルビーイング向上のため、さまざまな取り組みを推進してまいります。

*ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。
(出展：厚生労働省ホームページ)



【自動検温システム】

- ① スマートRFIDリーダ「KW2D形」（左）で社員証を読み取り、
- ② プログラマブル表示器「HG1G形」（中央）で個人を認証し、
- ③ プログラマブルコントローラ「FC6A形Plus」（右）でデータをクラウドサーバーに送信



以上

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com